

1. 事業の位置付け

事務事業名	特定健診・特定保健指導事業		
事業担当	健康・こども部 保険年金課		
予算科目	03-080201-010100	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心できる生活を支援する	
	02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第20条及び第24条、国民健康保険法第82条、国民健康保険条例第7条		
対象・受益者	平塚市国民健康保険被保険者	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
被保険者の疾病（特に生活習慣病）予防、健康の保持増進が図られています。		被保険者に対して、より健康的な生活習慣へと行動変容を促し、糖尿病などの生活習慣病の有病者・予備群を減少させるため、内臓脂肪症候群に着目した健診・保健指導を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	特定健康診査実施率						単位	%
	説明・算定式	特定健診受診者数÷当該年度当初における40歳以上の国民健康保険加入者数×100							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			—	35	40			
活動指標②	指標名	特定保健指導実施率						単位	%
	説明・算定式	特定保健指導利用者数÷特定保健指導対象者数×100							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			—	25	30			
成果指標①	指標名	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群減少率						単位	%
	説明・算定式	(1-当該年度のメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の数÷基準年度(平成20年度)のメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の数)×100							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			—	—	1			
成果指標②	指標名	計画策定進捗率						単位	%
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			100	—	—			
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
関係部署（健康課、高齢福祉課）と連携し、「平塚市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導実施計画」を策定したことにより、平成20年度から実施する特定健診・特定保健指導の準備を行うことができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	法令等に基づく事務のため必要なものである。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	法令等に基づく事務であり、有効である。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	法令等に基づく事務であり、事業の目的を達成するために妥当である。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	特定保健指導の実施は一部アウトソーシングを行い、コストの削減、民間のノウハウを活用します。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 増加を見込む対象者数に対応し、かつ、効率的・効果的な実施方法を検討します。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				計画策定及び実施 方法の周知	内臓脂肪症候群に 着目した健診・保 健指導	内臓脂肪症候群に 着目した健診・保 健指導		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	28,974	80,244	0	0
	県支出金	0	0	0	28,974	80,244	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	160,978	114,549	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	218,926	275,037	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	2.51	2.51	2.51	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	21,062	21,062	21,062	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	21,062	239,988	296,099	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 平塚市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導実施計画に基づき、健診・保険指導の受診者・利用者を増加させ、メタボリックシンドローム該当者及び予備群を減少させる。	
平成21年度の実行方針 平塚市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導実施計画の目標値に近づけるため、平成20年度に実施した事業の評価を行い、より効果のある実施方法の検討を行う。	
課長コメント	「高齢者の医療の確保に関する法律」により、保険者(市)による生活習慣病に着目した健診・保健指導の義務化が図られた。市民の健康を保持増進するため重要な施策であり、また中長期的には医療費適正化にもつながることから、健診結果に基づきメタボリックシンドローム該当者及び予備群への効果的な保健指導等の実施は必要なものと評価する。